

2014年7月8日

各 位

会 社 名 株式会社アコーディア・ゴルフ
代表者名 代表取締役社長 鎌田 隆介
(コード番号:2131 東証1部)
問合せ先 常務執行役員 道田 基生
電話 (03)6688-1500(代表)

ビジネス・トラストによるアセットライト、新株予約権付ローンによる資金調達 および自己株式の公開買付け等に関するお知らせ(開示事項の経過)

当社は、2014年3月28日付プレスリリース「ビジネス・トラストによるアセットライト、新株予約権付ローンによる資金調達および自己株式の公開買付け等に関するお知らせ」(以下「3月28日付プレスリリース」といいます。)でお知らせしたビジネス・トラストの手法によるアセットライトその他の諸施策の実施に関連して、本日、シンジケートローン契約を締結いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

当社は、3月28日付プレスリリースでお知らせしたとおり、リファイナンス資金の一部として新AGローンの実行が確実となっていることをアセットライト実施の条件の一つとしておりますが、本日付で、当社の既存借入金の返済等を目的として、株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行および株式会社三菱東京UFJ銀行を中心とする13金融機関との間で、総額320億円のシンジケートローン契約(以下「新AGローン契約」といいます。)を締結いたしました。なお、新AGローンが実行されるためには、以下の各トランシェの実行時点において所定の前提条件が充足される必要があります。

新AGローン契約に基づく借入れのうち、①金120億円(トランシェA)については、ビジネス・トラストによるアセットライトの実施時において既存借入金の借換資金の目的で2014年8月1日に貸付実行が予定され、最終弁済期限は2019年8月1日であり、②金150億円(トランシェB)については、2014年9月に償還期限が到来する当社の発行済みの社債の償還資金の目的で2014年8月27日に貸付実行が予定され、最終弁済期限は2016年8月27日であり、また、③金50億円(トランシェC)は、当社の子会社における配当に係る源泉徴収税の支払資金に充てるためのインターカンパニーローン貸付資金に利用される短期の借入れとして2014年7月10日に貸付実行が予定されており、最終弁済期限は2015年8月末日であります。

このトランシェAおよびトランシェBの借入れについては、当社のゴルフ場保有子会社の保有する一部のゴルフ場の土地・建物について担保留保の合意がなされ(財務制限条項への抵触などの一定の事由が生じた場合には、抵当権が設定され、その設定登記が行われます。)、また、新AGローン契約に基づく全ての借入れについて、当社の100%子会社が連帯保証を行います。

新AGローン契約においては、以下の財務制限条項をはじめ、当社の事業活動を制約する条項が含まれております。財務制限条項に抵触した場合には、金融機関からの通知により期限の利益を喪失する可能性があります。

①2014年9月第2四半期以降、各計算基準日(当社の各決算期及び各第2四半期の末日を意味します。)における連結貸借対照表または四半期連結貸借対照表における純資産の部の金額を以下の水準以上に維持すること。

- (a) 本自己株式公開買付け実施以前の決算期または第2四半期を判定期とする場合
前年同期比75%以上かつ692億円以上に維持すること。
- (b) 本自己株式公開買付け実施直後の決算期または第2四半期を判定期とする場合
375億円以上に維持すること。
- (c) 本自己株式公開買付け実施直後の決算期および第2四半期より後に到来する決算期または第2四半期を判定期とする場合
本自己株式公開買付け実施直後の決算期または第2四半期比75%以上かつ375億円以上に維持すること。

②2014年9月第2四半期以降、各計算基準日における連結損益計算書または四半期連結損益計算書に示される経常損益および営業損益が損失とならないようにすること。

③2014年9月第2四半期以降、各計算基準日における連結貸借対照表または四半期連結貸借対照表上の自己資本比率(純資産額/総資産額×100)を20%以上に維持すること。

④2014年9月第2四半期以降、各計算基準日においてレバレッジ・レシオ(純有利子負債(有利子負債－現預金)÷EBITDA(利払前、税引前、償却前の営業利益))の比率が下記を超えないこと。

格付(注)	レバレッジ・レシオ
B B B+以上	6.5倍
B B B	6.0倍
B B B-	5.75倍

(注)格付とは、借入人がR&IまたはJCRのいずれかより取得している発行体格付(もしくは長期発行体格付)または貸付債権に係る格付のいずれかの一番高い格付をいう。

⑤新AGローン契約の締結日の属する月の末日以降、各月末における連結貸借対照表または四半期連結貸借対照表上の現預金残高が3ヶ月連続して30億円を下回らず、かつ2ヶ月連続して20億円を下回らないこと。

⑥R&Iの発行体格付またはJCRの長期発行体格付をBBB-以上に維持すること。

また、新AGローン契約においては、不適格先((i)反社会的勢力、(ii)会社法・金融商品取引法等の違反により取締役の欠格事由に現在若しくは過去に該当する者、(iii)金融商品取引法の趣旨に重大な違反をするなど、資本市場の健全性・公正性を重大な点で阻害する態様により権利の主張を行い、当社の利益を著しく侵害する者、または(iv)これらの者と実質的に同一もしくは一体の者と認められる者が含まれます。)が当社の株式を5%を超えて保有することとなった場合(既に5%を超えて株式を保有する者が追加取得を行う場合を含みます。)には、当社は、その対応方針について、金融機関と誠実に協議を行う旨が定められており、かかる協議の結果、合意に至らなかった場合には、金融機関は期限の利益の喪失の請求を行うことができます。但し、金融機関は、当社の利益を踏まえた上で、不合理な理由(かかる不合理性の判断に際しては、債権保全への悪影響を勘案することを要します。)により、合意を留保または拒絶して、期限の利益喪失の請求をしてはならないものとされています。

なお、今期の業績に与える影響は、軽微なものを見込んでおります。

以上

【本件に関するお問合せ先】(平日 9:00～17:00)
株式会社アコーディア・ゴルフ
IR 部 野瀬
電話:03-6688-1500(音声ガイダンス)
E-mail:ir@accordiagolf.com

本プレスリリースは、当社や他社に対する投資その他の取引の勧誘もしくは斡旋等またはこれらを阻害することを目的としたものではありません。本プレスリリースに記載されております戦略・計画・方針・予想等の将来に関する記述は、本日現在において当社が入手している情報に基づく一定の前提(仮定)および将来の予測等を基礎として当社が判断したものであり、これらには様々なリスクおよび不確実性が内在しております。そのため、実際の結果等は本プレスリリースに記載された内容から大きく乖離する可能性があることをご承知おきください。

(ご参考)シンジケートローンの概要

- (1)アレンジャー みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行
- (2)参加金融機関 13行

1. トランシェAの概要

- (1)契約締結日 2014年7月8日
- (2)総 額 120億円
- (3)実 行 日 2014年8月1日
- (4)返 済 期 限 2019年8月1日
- (5)返 済 方 法 毎年3月末、9月末の約定返済付

2. トランシェBの概要

- (1)契約締結日 2014年7月8日
- (2)総 額 150億円
- (3)実 行 日 2014年8月27日
- (4)返 済 期 限 2016年8月27日
- (5)返 済 方 法 期限一括返済

3. トランシェCの概要

- (1)契約締結日 2014年7月8日
- (2)総 額 50億円
- (3)実 行 日 2014年7月10日
- (4)返 済 期 限 2015年8月末日
- (5)返 済 方 法 期限一括返済